

<p>12月1日 土 14:00 ～ 16:30</p>		<p>医療と介護の連携セミナー 保健福祉センター3階 基調講演 「人生の最終段階における医療・ケア」～医療・介護の現場で我々はどう対応すればいいのか～ 医療法人南労会紀和病院 病院長 西口 孝先生 参加者 医師9名 歯科医師3名 薬剤師5名 保健師6名 看護師27名 リハ3名 行政・事務11名 介護関係者6名 管理者5名 ワーカー6名 ケアマネ31名 <u>合計112名</u> グループディスカッション ファシリテーター：各職種1名、病院地域連携室、紀和病院師長・主任等ご協力いただきました。 西口先生から事例を提供いただいて13グループで多職種でどう対応すればよいか話し合いました。 ①医学的適応 ②本人の意思の確認と本人の意思の尊重 ③ケアの方針 ④周囲の状況把握 の4つの窓から見つめなおして…さすが皆さまプロ集団だと感じました。 ・まずは、丁寧に選択肢の提示をし、本人と家族の意向を確認したうえで、今後の生活と治療の優先度を決定する。 ・医療介護提供者と本人家族の関係性を作る。いつでも方向性変更の受入れを行うことを説明する。 ・本人がどこで生活したいのかと意欲と覚悟も確認する。 ・可能な限り、苦痛を緩和およびコントロールしたうえで意思確認を行う。 ・本人の意思や気持ち、家族の気持ちもきちんと記録に残す。 家族の本当は…にも耳を傾ける。</p> <p>今回、西口先生の温かさが伝わる講演で多くのヒントを得て、多職種が自分の立場で何ができるか知識を出し知恵を絞り検討しました。地域の方々が安心して住み慣れた場所で暮らし続けていけるために。</p> 
<p>12月7日 金 14:00 ～ 16:00</p>		<p>口腔ケア事業 研修後事後評価 (特養)第2愛光園 愛光園の職員様及び愛光園周辺のスタッフの方々、平成30年8月から3回の研修を受講され3ヶ月経過しました。 研修前からご協力いただいている利用者様約25名様に再度ご協力いただき、以下の3項目の検査を実施いたしました。 ・舌圧 ・口腔内水分量チェック ・細菌数 棚田介護課長・平田看護課長・保健所丹下主査の手際よい説明と手技に付いていくのが精一杯でした。 施設を挙げて熱心に取り組みいただいて、本当に感激しました。口腔ケアのモデルになれる事業所ですね。 今後も引き続きケアの質向上を目指して一緒に取り組み続けましょう。</p> 
<p>12月11日 火 16:00 ～ 17:00</p>		<p>診療所内カンファレンス 前田医院 21名参加 11症例のカンファレンスを実施 地域の現状がよく見えるカンファレンス内容でした。最後まで聞いてると、胸がつかまってきました。認知症の夫を支える認知症の妻、朝から飲酒をしていても“飲める間は…”と自宅療養をさせている家族、インシュリン導入退院直後でも看護より介護を選択するしかない環境…といった何を優先して考えるのがベストなのか真剣に考えたカンファレンスでした。 他に、ポリファーマシーの場合はどのような情報を医師に提供すべきなのかという質問ができました。急に家族や施設・病院などで引きあげたりするだけでも状況が悪化する場面もある。内容を正しく理解して服用している人のほうが少ないのではないかと。在宅療養しているかたのこういった問題は、多職種が連携し情報共有していく必要がある。 “ポリファーマシー (polypharmacy)”とは、多剤併用と言い換えられることが多いが、必要以上に多くの薬を併用している状態と捉えた方がよい。…ポリファーマシーの解決には処方薬の内容、服薬管理方法、治療方針、さらには患者の生活やケアの在り方も含めた見直しが必要となる。</p>
<p>12月13日 火 14:30 ～ 15:30</p>		<p>薬剤師会 出前講座 胡麻生老人会 講師 ヨシダ薬局 吉田里子薬剤師 「感染症対策」 参加者 19名 感染症の中でも、ノロウイルスとインフルエンザウイルス対策についてのお話でした。 参加者の皆さまはニュースで聞く程度で、ノロウイルス罹患の体験がないようでした。 実はわたくし体験者ですが、ほんまにしんどかったですよ。トイレで何時間過ごしたか。 それ以来、流行っているときは、無意識に髪の毛を触ったり顔を触ったりするのを意識してやめたり、ドアノブやパソコンのキーボードは汚染されているということ意識するようになりました。</p>

<p>12月14日 金</p>	<p>14:00 ～ 16:00</p>	<p>口腔ケア事業 研修後事後評価 (老健)メディケア橋本 メディケア橋本の職員様及び周辺のスタッフの方々が、平成30年8月から3回の研修を受講され3ヶ月経過しました。研修前からご協力いただいている利用者様約17名様に再度ご協力いただき、以下の3項目の検査を実施いたしました。 ・舌圧 ・口腔内水分量チェック ・細菌数 和歌山県立高等看護学院の実習生さん達も保健所の丹下先輩の説明を受け、一緒に参加されました。メディケア橋本さんはいつも周囲の研修の参加受入れにも前向きで、当事業においても多施設の方の参加も多く、いつもウエルカムな状況を作っていただいています。今後も岡田歯科医師はじめ医療介護の関係者の出入りのしやすい、情報交換のしやすい施設であり続けていただきたいと思います。</p> 
<p>12月17日 月</p>	<p>13:30 ～ 15:00</p>	<p>薬剤師会 出前講座 ふれあいサロン満月100歳クラブ 講師 アオイ薬局 西前多香哉薬剤師 「薬の正しい使い方」 参加者 27名 お薬手帳 かかりつけ薬局 薬の効き方と副作用 正しい飲み方 正しい飲む時間 など盛りだくさんの内容でした。集会所が突然理科の実験室に。お茶と貧血の薬でインクになったり、試験管から泡がブクブクと噴き出して・・・爆発しないでよかった。 誰一人として、1時間半トイレにも行かず、「もし忘れてらどうしたらいい!」「薬同士のケンカはあるか」「何で薬を飲むか」等たくさんの質問をいただきました。熱心に講師も「参加者の目が輝いている」と絶賛されていました。 お世話していただいた花谷さんは「自分の薬に対する認識の半分は間違えていた。」と自白。 花谷さんの正直さが皆を熱心にさせているのでしょうか。</p> 